

令和2年度

11月08日

生徒会サミット

大阪府議会議場で毎年行われている生徒会サミットが実施されました。

今回の生徒会サミットが12回目で、太子町立中学校からも生徒会の2人が参加しました。新型コロナウイルスの影響を考え、今回はリモートでの参加です。

今回のサミットには、49校 90名の生徒が参加しました。



生徒会サミットのテーマ

「大阪からいじめをなくすために

～いじめを自分の問題として捉え、学校を安心して過ごせる居場所とするために～」です。

太子町立中学校では、学校やクラスで悩んでいること、なかなか言いにくいことを匿名で意見を出してもらい、生徒会で何か助けができないか考え、活動を考えるために、生徒会のスローガン「つなげよう 心の糸電話」から目安箱の設置をしています。

また、自分の学校でのふるまいや態度、気持ちを見直す期間として、『メイクハート』という活動を行っています。いまそれぞれが抱えている課題や自分の性格などを見つめなおすことで、成長できるきっかけとしています。また、学年で一つのことを考えることで、お互いを知る機会にもなります。



生徒会サミットでは、それぞれの中学校、地域、目指している目標によって、さまざまな生徒会活動を知ることができました。ほかの中学校で行われている生徒会の意志や活動等を交流することができ、太子中の生徒会にとってもいい刺激になったと思います。

今回のテーマについて、グループでの協議を行いました。東能勢中学校様、府立富田林中学校様、ありがとうございました。

スマホの有無や周りの空気感など、小さなものからいじめになり得るということを改めて理解しました。その小さなことにも気づいて、動けるようになるには、どのような工夫が必要になってくるのかを生徒会という立場からも考える機会となりました。



【太子町立中学校 生徒会の参加者の声】

生徒会サミットに参加させていただき、普段の生活ではできないような貴重な話し合いをすることができました。「いじめ」についての話し合いを行いました。色々な意見を聞くことができ、人よっての考え方、感じ方がありました。どの意見にも納得できる部分があり、体験談も踏まえて、よりよくしていくにはどうすればよいか、とたくさんの意見を交わすことができました。その結果、まずは寄り添い、「呼びかける」という形ではなく、「身近」なところから声をかけていくということになりました。

そのために、太子中でも生徒会がもっと近く感じられる取り組みをしたいと考えています。他の学校の取り組みも参考にしつつ、色々な案を出しているところです。(会長)

自分の学校以外の生徒会との交流は、自分のこれからの活動に活かされるととても良い経験になったと思います。各学校で、特色のある活動をしているところも多く、太子町立中学校と似ている活動をしている学校もありました。それぞれの活動の良いところは吸収して、これからもより良い学校を目指していきたいと思います。(副会長)



今回の生徒会サミットを踏まえて、太子町立中学校での生徒会活動としてできることを考えようと思います。

早速、活動での意見も出てきており、学校にいるだれもが安心して過ごせる学校を目指して、生徒会から動いていこうと思います。

小さなことがいじめに変わり、

小さな勇気で繋がれる・救うことができる